



みなみの風

坂下南小学校
学校だより
NO. 156
R7. 9. 3
(文責:校長 菅家 篤)

ドリーム & チャレンジ! ~あいさつ・はっぴよう・なかまとじぶん~

人が喜ぶことをしよう!

始業式の校長講話で「人が喜ぶことをしよう」と子どもたちに呼びかけました。

昼の放送で、槇原敬之さんの歌『僕が一番欲しかったもの』を子どもたちに聴かせました。

この歌はまさにハピネス・クリエイターの歌だと思います。

私たちは、人のために何かをして人を幸せにする力をもっています。

人を幸せにすることで自分も幸せになることができます。つまり、思いやりの心をもつことができたなら、互いに幸せを分かち合えるのですね。



僕が一番 欲しかったもの Renewed



そのあとにもまた僕はとても
素敵なものを拾った
ふと気が付いて横に目をやると
また誰かがいるのに気付いた
その人もさっき僕が拾った
素敵なものを今の僕以上に
必要としている人だと
いう事が分かった

惜しいような気もしたけど
またそれをあげる事にした

きっとまたこの先探していれば
もっと素敵なものが見つかるだろう
なによりも僕を見て嬉しそうに
笑う顔が見れて嬉しかった

結局僕はそんな事を何度も繰り返し
最後には何も見つけれないまま
ここまで来た道を振り返って見たら

僕のあげたものでたくさんの
人が幸せそうに笑っていて
それを見たときの気持ちが僕の
探していたものだ分かった

今までで一番素敵なものを
僕はとうとう拾う事が出来た

さっきとても素敵なものを
拾って僕は喜んでいて
ふと気が付いて横に目をやると
誰かがいるのに気付いた
その人はさっき僕が拾った
素敵なものを今の僕以上に
必要としている人だと
いう事が分かった

惜しいような気もしたけど
僕はそれをあげる事にした

きっとまたこの先探していれば
もっと素敵なものが見つかるだろう
その人は何度もありがとうと
嬉しそうに僕に笑ってくれた

坂下南小の素敵な「校風」をつくる6年生!

6年生が中心となって、まずは気持ちのよいあいさつで、新しい校風をつくってほしいと願っています。

気持ちの伝わるあいさつ「語先後礼」(ごせんごれい)

「語先後礼」(ごせんごれい)という言葉をご存知でしょうか? これは「あいさつを先に、礼を後に」という意味で、相手に対し、あいさつの言葉を発してからお辞儀をするという所作です。

相手が丁寧なあいさつをしてくれていることが分かったら、誰でも嬉しい気持ちになります。「あいさつにまで相手への意識や感謝が込められている」ということに気付くことは、子どもたちにとって、自分が何だか豊かに成長した気分にもなるのではないかと思います。ただ、「語先後礼」が丁寧なあいさつだからといって、どのような場面でも行う必要があるかというと、そういうわけではありません。場面によっては会釈程度に済ませた方がよい場合もあります。ですから「語先後礼」は、改まった場や来校されたお客様などに対しての礼儀作法です。これからは、6年生が「語先後礼」の範を示してくれます。

「こんにちは」(あいさつが先)



6年生の子どもたちに「語先後礼」を体験してもらいました

ていねいに礼(おじぎが後)

